

ICF 四半期報告

2024年4月～6月

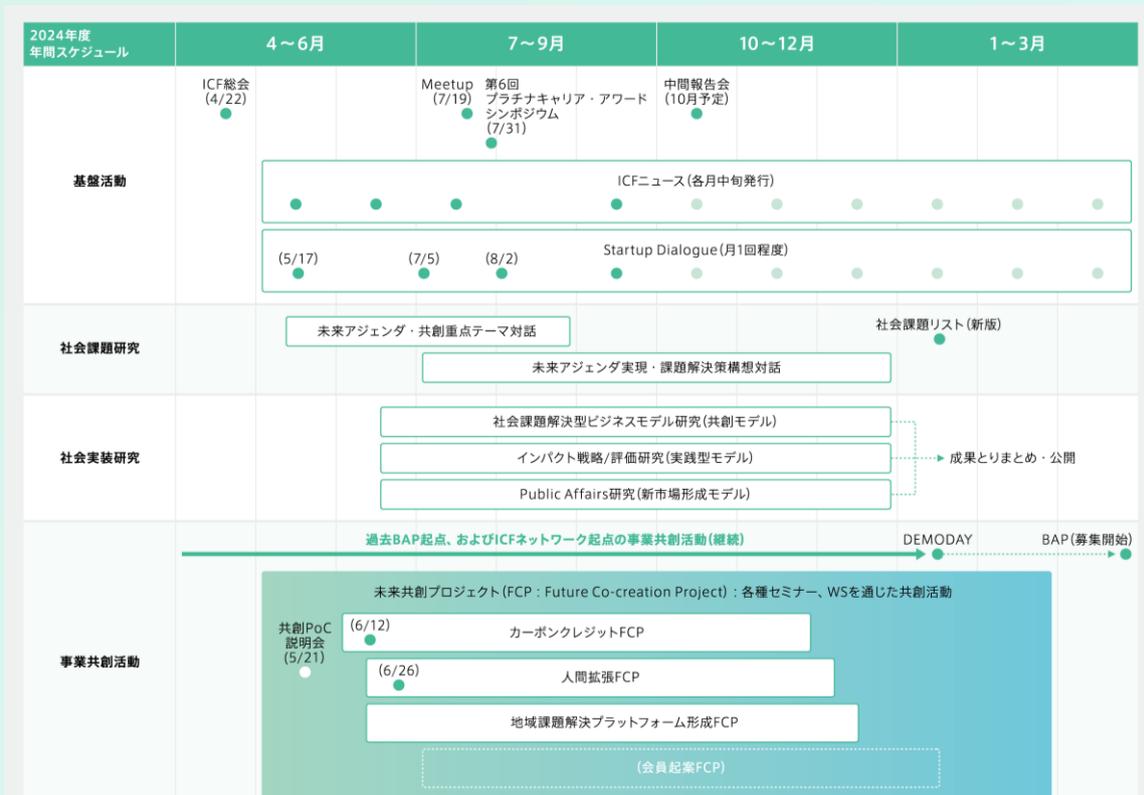
<2024年度方針>

ICF 2024年度がスタートして3か月が経ちました。今年度はICF設立理念を踏襲しつつ、これまで3年間の活動実績を踏まえ、大きく三つの観点から次なるステージに向けたアップグレードを目指します。

- ① 「社会課題起点=ICF活動の出発点」のアップグレード。ここ数年、世界は目まぐるしく動いています。コロナ禍後もその勢いが増す中、改めて新たな潮流をしっかりと掴み、想定される社会的インパクトを鮮明に描きだすことが出発点となります。同時に、未来志向によるバックキャスティングでアジェンダ設定することも、社会課題研究の中で扱います。
- ② 「事業共創活動」のアップグレード。引き続き、社会課題解決型ビジネスを生み出す検討は続きます。併せて、新たなマーケットやマーケット・ルールを創り出すために有効な道具類の整備も進めます。社会的インパクトに基づく戦略策定～評価フレームワークや新たなファイナンス・スキームのほか、マーケット創造に不可欠な機運醸成を含むパブリックアフェアーズの戦略的活用などが鍵を握ります。いずれもICFとして使い勝手の良い道具に仕立てオープンリソース化を目指します。
- ③ 「コミュニティ活動」のアップグレード。多様なICF会員の特長を活かして、それぞれ得意分野・関心領域を持ち寄り、社会課題テーマに沿って繋ぎ、そしてかけ合わせる。これがコレクティブインパクトを生み出す源泉となります。ネットワーキングを単なる出会いの場に終わらせることなく、課題テーマに沿った産学官連携の道を探ります。ICFイベントへの参画を通じて、参加者個々の「意思」を引き出し、実際に「動く」ところまでを活動範囲として取り組みます。

<年間活動計画> <https://icf.mri.co.jp/activities/>

- ・ICFの会員基盤/ネットワーク基盤を具体的な社会実装に繋げる取り組みに力点
- ・「基盤活動」「社会課題研究」「社会実装研究」「事業共創活動」の構成でアクションプランを策定



BAP: Business Acceleration Program

※2024年6月時点での活動予定。点線スケジュールは実施時期が流動的なもの

<4~6月活動報告>

◆4/22開催「ICF総会2024」開催報告

新年度のスタートに合わせICF総会を開催。過去3年間の活動の振り返りおよび新年度の活動方針・計画（前頁参照）を説明し、具体的な社会課題解決、社会実装に取り組んでいくことを表明しました。

また、冒頭の基調講演では、慶応義塾大学 大澤博隆准教授から、「SF（サイエンス・フィクション）から見た未来の社会課題」についてお話しをいただきました。新たなテクノロジーがもたらす未来の社会課題について考えるきっかけやヒントが多く盛り込まれた内容でした。

プログラム後半では、今年度のICF活動テーマに関連する事業や取り組みを進めている8つの企業・団体の会員に登壇いただき、ショートピッチ、ICF活動への期待などをお話しいただきました。終了後は交流会を開催。会員同士の活発な情報交換、ネットワーキングがおこなわれ盛況となりました。

※詳細は下記イベントレポートをご覧ください。

<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-17728/>



◆5/21開催「ICF 共創PoC企画説明会」開催報告

事業共創活動の第一弾として、「ICF 共創PoC企画説明会」をオンライン開催しました。今年度スタートする共創型プロジェクトを6テーマまとめて紹介。いずれも、これまでセミクローズ形式で検討してきた企画案をもとに、拡大メンバーを募って、共創活動の拡充を図るものです。

《共創テーマ》

テーマ1：カーボンクレジット（脱炭素アクセラレーションLab活動）

テーマ2：地域課題解決プラットフォーム（麻布台商店街エリア×生成AI⇒トライアル企画）

テーマ3：博士人材活用型イノベーション創出（MRI「INNOGUIDE」コラボ企画）

テーマ4：人間拡張・バーチャルエコノミー領域（本領域におけるベンチャー会員等との共創企画）

テーマ5：介護者のウェルビーイング向上（NTTデータ起案企画）

テーマ6：地域経済循環の活性化による地域創生（NTTデータ起案企画）

説明会開催後、参画希望者の募集・マッチングを実施するとともに、下記2テーマについてはキックオフイベントを開催

テーマ1 → 「カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop」（6/12） <p3参照>

テーマ4 → 「特別ウェビナー：XRがもたらす社会変革」（6/26） <p4参照>

◆6/12開催「カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop」開催報告

今年度から新たに取り組む事業共創活動「脱炭素アクセラレーションLab」のキックオフイベントを6月12日に開催しました。当日は、約150人（リアル60人、オンライン90人）にご参加いただきました。カーボン・クレジットの領域は、今後数年間で市場環境が大きく変わる可能性が出てきました。2024年5月には、米国バイデン政権がボランティアカーボンクレジット市場への責任ある参加に向けた原則を発表するなど、市場制度・ルールの整備が世界的に進展する見込みです。こうした市場環境の動きを捉え、ICFではカーボン・クレジットのナレッジ共有、共創アイデアの創出、そして試行的なクレジット調達によるケーススタディを行う活動「脱炭素アクセラレーションLab」を開始しました。

今回の「カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop」では、既にカーボン・クレジットを活用しているアーリー・ムーバーの方々にご登壇いただき、早期に取り組む意義、今後の市場の目論見、社内の説得方法等についてパネルディスカッションを通して具体的な取り組みを深掘しました。参加者からは、取り組み意義として、取引先との関係性強化、副次的効果（地域貢献、生物多様性等）、早期参入による事業機会の探索と獲得等の意見が上がりました。一方で、課題として、社内への浸透や社内調整の苦労、煩雑な手続き、準備に多大な時間を要すること等の意見が上がりました。

引き続き、具体化に向けた検討を進めていきます。なお次回の企画は9月頃を予定しております。

(プログラム)

・オープニング：

「脱炭素アクセラレーションLab」活動のご紹介

・話題提供：

カーボン・クレジットに関する新たな潮流の共有と問題提起

三菱総合研究所 石井 晶子

・パネルディスカッション①

オフセット・インセットによる新たなビジネスモデルの挑戦

パネリスト：

JX石油開発株式会社 石川 充子氏

大東建託株式会社 大久保 孝洋氏

Sustineri株式会社 船越 洋平氏

ファシリテーター：

株式会社三菱総合研究所 小島 浩司

・パネルディスカッション②

二酸化炭素除去（CDR）クレジットによる
ネガティブエミッションへの挑戦

パネリスト：

株式会社商船三井 村尾 拓哉氏

日本航空株式会社 廣谷 和生氏

株式会社三菱UFJ銀行 志村 幸美氏

ファシリテーター：

三菱商事株式会社 堀田 祐史氏

・クロージング：

ラップアップ、共創に向けて

・ネットワーキング：



会場の様子



パネルディスカッションの様子



ネットワーキングの様子

◆多様な女性の活躍推進、非正規・非就業女性向けリカレント教育講座開講、効果検証・事業化へ

“女性の活躍”は、ICFで制作・公開している「[社会課題リスト](#)」や、社会課題解決へ高い志を持つスタートアップとの共創活動「[Business Acceleration Program \(BAP\)](#)」の場においても、取り組むべき重要な社会課題として設定し、その解決策を有するステークホルダーと議論・ビジネス検討を進めてきました。本活動を通して、女性の活躍推進、さらなる活性化には、非正規（有期雇用、パート、派遣）・非就業の女性向けリカレント教育を拡充し、多様な女性の課題解決、社会進出・活躍支援が必要と認識しています。

そこで、ICF会員である [\(学\) 椋山女学園](#)、[\(株\) カランドリエ](#)とMOU（基本合意書）を締結し、さまざまな理由でキャリアが中断・停滞している女性が抱える心理面や健康面、技能面の課題解決の糸口を捉え、その解決策の手段を習得できる「産学連携による女性のためのライフキャリア×ヘルスケア講座」を開講します。

開講後は、本講座の受講者に対する効果を検証し、非正規（有期雇用、パート、派遣）・非就業の女性向けのリカレント教育市場の創造・拡大に向けた検討を行います。その検証結果を踏まえ、多様な女性の活躍推進に共感する企業・大学等へも展開を予定しており、正社員女性だけでなく、非正規・非就業女性の労働市場での活躍を通して、真の女性活躍推進を目指します。

詳細は[ニュースリリース](#)をご覧ください。 <https://www.mri.co.jp/news/press/20240621.html>

（講座概要）

開催期間：10月12日（土）～12月21日（土）のうち計12コマ（6日間）

主なプログラム：女性のライフキャリアの在り方、女性のヘルスリテラシー、家族や同僚の理解を得るソーシャルコミュニケーション

◆6/26開催「特別ウェビナー：XRがもたらす社会変革」開催報告

今年度から新たに取り組む事業共創活動「人間拡張・バーチャルエコノミー領域」のキックオフイベント。今回は、XR系国内最大級専門メディア「Mogura VR」を運営する株式会社Mogura代表取締役の久保田 瞬氏をお招きし、XR・メタバースの最新動向・ポイントや社会実装に向けた取り組み等について講演いただきました。参加者からは、XR・メタバースが進化することによる現実社会への悪影響や各社が開発しているプラットフォームの規格統一化の動き等について質問が上がりました。今後、7/19開催予定のICF Meetupでのブース展示や、8~9月頃のワークショップ開催を通じて、「人間拡張・バーチャルエコノミー領域」の共創活動を進めていきます。



株式会社Mogura
代表取締役 久保田 瞬氏

◆インパクト起業家ストーリー#43公開

社会課題にビジネスで立ち向かうには、起業家の人間力や組織としての力が求められます。起業家たちは何を想い、目指す世界をどのように実現しようとしているのか。社会課題解決に向けて奮闘する「ひと」に光を当てて、直面している課題の理解や

認知向上、ひいては社会としてのブレークスルーを

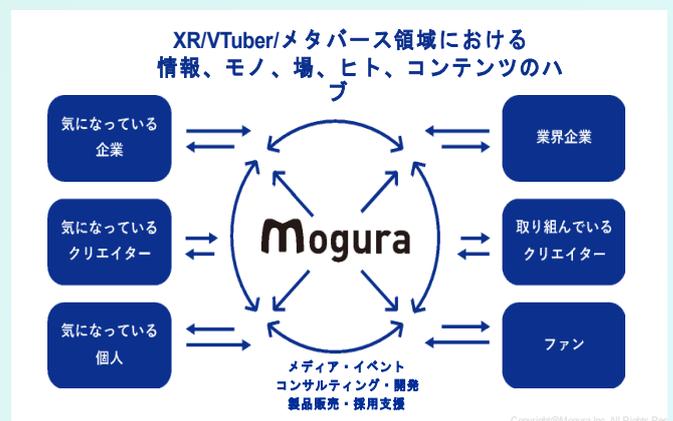
加速することを狙いとして取材記事をお届けし

ています。⇒記事一覧（42社公開中）は[こちら](#)

新たに、XR系国内最大級専門メディア「Mogura VR」

を運営する[株式会社Moguraの記事](#)を公開しま

した。



出所：株式会社Mogura

◆2023年度活動結果を公開

・2024/3/7に開催した「MRI DEMO DAY 2024」の開催レポートとアーカイブ動画を4月に公開しました。BAP2023ファイナリスト・特別賞受賞者と取り組んできた共創事例を含め、社会課題を起点にしたスタートアップとの共創活動について発信しています。詳細は、下記ICFサイトをご参照ください。

<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-17252/>

・4月下旬に活動報告書2023を発行。ICF会員に共有後、5月に下記ICFサイトにて一般公開しました。

<https://icf.mri.co.jp/information/information-17902/>

<ICF会員> ICF会員一覧は[ICFサイト](#)ご参照

4/1～6/30に、25社・団体が新規にご入会。6月末時点での会員数は、627社・団体となりました。
(新たにご入会された会員)

【企業】

◇株式会社コシダアート <https://www.koshida-art.co.jp/index.html>

◇東武鉄道株式会社 <https://www.tobu.co.jp>

◇富士フィルムホールディングス株式会社 <https://holdings.fujifilm.com/ja>

◇本田技研工業株式会社 <https://global.honda.jp>

◇有限会社紋珠 <https://www.monjyu.co.jp>

【ベンチャー】

◇株式会社エクステンシブル（ウェルネス） <https://www.xtsbl.jp>

◇株式会社エムニ（テクノロジー） <https://emuniinc.jp>

◇株式会社エンドファイト（水・食料） <https://endo-phyte.com/>

◇株式会社オキュラボ（ウェルネス、教育・人材育成） <https://www.occulabo.co.jp>

◇株式会社Quark（テクノロジー） <https://www.quark-inc.com>

◇株式会社グリーンエース（水・食料） <https://greenase.jp>

◇GCT JAPAN株式会社（テクノロジー） <https://gct-japan.jp/>

◇株式会社Z-Works（ウェルネス、テクノロジー） <https://liveconnect.jp>

◇株式会社ドクターナウ（ウェルネス） <https://doctornow.co.jp>

◇Trash Technologies株式会社（エネルギー・環境、テクノロジー） <https://trashtech.jp>

◇株式会社 neumo（ウェルネス、テクノロジー） <https://neumo.jp>

◇株式会社ヒュージョン（ウェルネス、テクノロジー） <https://www.husion.net>

◇フィジオロガス・テクノロジーズ株式会社（ウェルネス） <https://physiologas.co.jp>

◇株式会社Booon（水・食料、テクノロジー） <https://booon.co.jp>

◇株式会社フェイガー（エネルギー・環境、テクノロジー） <https://faeger.comany>

◇株式会社Mogura（テクノロジー） <https://mogura.co/>

◇ロゴスサイエンス株式会社（ウェルネス、テクノロジー） <https://logossjp.com>

【自治体】

◇富山県 <https://www.pref.toyama.jp>

【賛助】

◇学校法人椋山女学園 <https://www.sugiyama-u.ac.jp/gakuen>

◇国立大学法人北海道大学 <https://www.hokudai.ac.jp>

<7～9月活動予定>

4～6月に立ち上げた事業共創プロジェクトを継続・拡充していくほか、新・社会課題リストの検討・作成、社会実装研究等に着手する予定です。

7月には例年通りICF Meet upを開催し、新規入会会員の周知と共創可能性を探索します。変わらず新規入会の増加傾向が続いており、賑やかなイベントになることが予想されます。

なお、例年7月に募集開始していたBAPは、MRI DEMO DAYとあわせ開催時期を変更することになりました。昨年のBAP 2023ファイナリストらとの共創活動が継続しており、これら共創成果を十分に踏まえたMRI DEMO DAYを1月頃に開催、そして次のBAP募集を2～3月頃に開始予定で現在企画準備中です。

◆7/19開催「ICF Meetup 2024」

昨年度に引き続き今年度も、ICF会員同士の交流、対話を通じて、新たなビジネスパートナーとの出会いやセレンディピティが生まれることを企図したMeetupイベントを開催します。

昨年度は「ウェルネス・ヘルスケア」をテーマとし、基調講演を行いました。今年度は「コミュニティ活動」のアップデートを企図。会員同士の交流促進に重きを置き、新しく入会された会員を中心に社会課題解決に向けた先進的な活動を実践、推進、支援されている会員のご登壇（ピッチ）に多くの時間をかけるプログラムとしました。また、北陸地域の自治体・大学からの入会が増えたことから、北陸地域のセッションを設け、5団体にご登壇いただく予定です。終了後は、交流会を開催し、会員同士の交流の機会を創出します。

プログラムの詳細や申込方法は、下記ICFサイトをご参照ください。

<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-18175/>

◆7/31開催「プラチナキャリア・アワード表彰式及び記念シンポジウム」

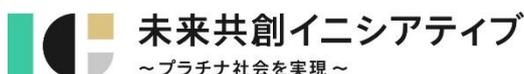
プラチナキャリア・アワードは、三菱UFJ信託銀行（共創会員）とICFとの共同企画として、プラチナキャリア形成を支援する企業を表彰するものです。東洋経済新報社が実施した「東洋経済 第19回CSR調査（2023年）」、及び転職会議によるクチコミ情報により選定をしたうえで、審査会にて表彰企業を決定します。

第6回となる今回のテーマは、「会社の経営理念と進むべき方向を社員と共有し、その実現に必要な人材育成・確保に向けた環境を提供し、社員一人ひとりの自律的なキャリア形成を支援しているか」です。総計116社に上る応募を受け、6月14日に審査会を実施し、来る7月31日に表彰式及び記念シンポジウムを開催します。記念シンポジウムは、厚生労働省、東京証券取引所の後援を受け、東証ホールで開催予定です。

表彰式では、今までのプラチナキャリア・アワードの流れ、受賞企業の表彰理由等を発表します。また、記念シンポジウムでは、経済財政諮問会議議員等としてもご活躍されているBNPパリバ証券株式会社の中空麻奈氏をお招きし、「クレジット・ESGの視点から見る人的資本の現状と未来への提言」と題してご講演いただきます。さらに、パネルディスカッションでは、プラチナキャリア・アワード審査委員の皆様、三菱総合研究所 生成AIラボセンター長 比屋根一雄を加え、「生成AI時代のプラチナキャリア ～企業価値を向上するための生成AIの活用とは～」と題して議論いただきます。

プログラムの詳細や申込方法は、下記サイトをご参照ください。

<https://platinumcareer.mri.co.jp/>



未来共創イニシアティブ（ICF）事務局 担当：水嶋

Email：icf-inq@ml.mri.co.jp ICFサイト：https://icf.mri.co.jp/

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3 TEL:03-6858-3557